

様

松本歯科大学病院連携型口腔診療部門では以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の資料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、資料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	日常診療におけるパノラマ X 線写真を用いた骨粗鬆症スクリーニングのための下顎骨下縁皮質骨形態分類の有用性（後ろ向き調査）
研究責任者	松本歯科大学歯科放射線学講座 杉野紀幸
研究期間	2019年4月1日～2024年3月31日
研究の目的・概要	現在、パノラマ X 線写真における下顎骨下縁皮質骨形態分類（正常、軽度～中等度粗鬆、高度粗鬆）は骨粗鬆症スクリーニングに有用であると報告されています。これは歯科診療を目的に撮影されたパノラマ X 線写真を用い、低骨密度や骨折リスクのある無症候性患者をスクリーニングし、更なる精密な検査を受けるために医科に紹介することが可能となります。松本歯科大学病院連携型口腔診療部門では2012年9月から、通常のパノラマ X 線写真の所見を書くと同時に下顎骨下縁皮質骨形態分類を判定登録するシステムを使用しています。一方でその判定、いわゆるスクリーニングの妥当性については判っていません。そこで本研究では、松本歯科大学病院連携型口腔診療部門の歯科放射線科医が日常診療で判定した下顎骨下縁皮質骨形態分類が骨粗鬆症スクリーニングに真に有用であるか否かについて検証します。
利用又は他機関に提供する情報	研究対象は2012年9月から2018年3月に松本歯科大学病を受診してパノラマ X 線写真を撮影した40歳以上の方の以下の資料・情報を利用します。 資料：パノラマ X 線写真 情報：骨粗鬆症診断歴、性別、年齢、現在歯数、高血圧の有無、糖尿病の有無および下顎骨下縁皮質骨形態分類判定結果
資料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	上記の情報を特定の個人を識別することができないものに匿名化し、必要な場合に研究対象者を識別することができるよう、対応表を作成します。 匿名化した対応表は研究責任者の責任のもとに松本歯科大学歯科放射線学講座の施錠された書庫で厳重に保管します。
資料・情報を利用する者の範囲	松本歯科大学歯科放射線学講座： 杉野紀幸、田口 明、黒岩博子、長内 秀、山田真一郎
問い合わせ先	松本歯科大学歯科放射線学講座 杉野紀幸 電話：0263-51-2096